

# 教育委員コラム

## 「教育委員コラム」スタートにあたって

教育委員長 小澤 重

素朴な質問『教育委員って！』

一般の方に、今日運動会を観に行ってきた。又、学芸会に行ってきた。「とても楽しかった」と話をすると、ほとんどの方が『お子さんがいるの？』『お孫さんがいるの？』と聞いてきます。

そうじゃなくって、、、さあ！、、、。実は教育委員ですので、と言いますと、必ず『そこまでするの、大変ですね！』と言われる。（本当は、どなたでも見について応援してもらいたいです）

そして、その後は、『じゃー、教育委員って何をしているの？、、、』と言う事になります。

「教育委員は応援団！」そういった時、私は、教育委員は学校の校長先生、児童や生徒の皆さんの応援団です。と答えるようにしています。応援団が、学校行事に行き応援するのは当然です。

もう少し質問にお答えしますと、現在教育委員は5名（その中4名が民間人で、内1名が女性）です。

他の市町村にも、それぞれ教育委員会があり、《全ては子供達の為に》このスローガンを合い言葉に、色々な取り組みや、活動をしています。

私達弟子屈町の委員会は、委員や委員会のスタッフみんなが一生懸命で、ほかの市町村と比べても負けないほど、とても素晴らしい活動をしていると自負しておりますが、先ほどの質問のように一般の人方には、あまり実態が薄いのでは、実感！反省しています。

応援団が応援している様子や、それぞれの立場に応じた感動や感想（あまり堅苦しくなく民間の立場も取り入れて）を少しでも教育委員の活動を知っていただけます様、「教育委員コラム」を発行する事に至りました。取りあえず決まったテーマでもなく、色々な角度から教育委員の取り組みを伝えていきたいと思っております。



## 教育委員リレーコラム

### 《挨拶は社会生活の第一歩》

学校へ訪問しますと、本当に驚くほど子供達の挨拶が素晴らしいです。小規模校・大規模校問わず、挨拶や、返事を返してもらえます。とっても気持ちのいいものです。

残念ながらほとんどの生徒さんは、名前を知りませんが、そういう時、何という名前の生徒さんだろうか？と思う程嬉しくなります。

そういう気持ちで学校以外で挨拶をしますと、色々な場面が有り一概にいえますが、50%ぐらいの確率に落ちてしまいます。応援団と致しましては、社会生活の第一歩、「挨拶」をどこでも誰にでも、気軽に出来る様にとエールを送りたいのです。

（次回のリレーコラムは藤原委員です）

**弟子屈町教育委員会**

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場  
電話：015-482-2945 HP：<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>



# 教育あっちこっち情報

## 「地域密着の運動会「奥春別小学校」

天候に左右される学校の一大行事『運動会』。その日は最高の運動会日和だった。グラウンドには小学校児童のほか、隣接する保育園児・地域住民が大勢参加している姿があった。各競技に一生懸命汗を流す児童、それをサポートする先生やお手伝いの教育大生。それに加え父母や地域の皆さんも、積極的に各種目に参加し会場を盛り上げていた。

その会場を見て思う事があった。それは運動会に関わる皆さんの温かい眼差しの先には子供たちの姿があるという事。『地域の子供は我が子供』そんな思いがひしひしと伝わってきた。

そこには地域で学校を支え、共に子供たちを育てるという気持ちと、学校は地域の皆さんをつなぐ場であるとあらためて感じる一日だった。

教育委員 菅原 誓之



## 「第29回北海道小学生陸上競技大会を応援！」

7月17日・18日の2日間にわたって、弟子屈小学校児童14名が弟子屈RCとして函館市で開催された全道大会に挑みました。2日間とも素晴らしい天候に恵まれ、応援に駆け付けた保護者の皆さんも声援を送っていました。

結果は須崎理子選手が昨年に引き続き小学6年女子100mで第1位を獲得し、全国大会出場を果たしました。

また走り幅跳びでは惜しくも第2位でした。小学6年女子4×100mリレーでは須崎理子・小澤寧々・小家山春・向ひより4選手が一丸となって、見事決勝に進ずみ期待が集まりましたが、その結果第5位となりました。

何れにしても、出場した選手全員が全力を尽くすりっぱな戦い振りにとても感銘を受けました。

教育長 小林 俊夫



## 「川湯小学校の運動会を参観して」

6月19日は朝方まで雨が降っていたものの徐々に回復し、運動会らしい天候となりました。この日は、川湯・美留和・奥春別と3校の運動会が重なり、私は午前中の大半を地元の川湯小学校で過ごしました。保育園との合同運動会も4年目となり、保育園の園児が加わったおかげで、小学校の児童達は上級生振りを発揮し、自分の事以上に係り活動を生き活きとこなしていました。保護者席には、親御さんの他に祖父母の方々やその友人の方なども観ていらして、一人の子供の背景に、たくさんの大人の温かい視線があるのを感じました。

今盛んに言われる「地域のつながり」が川湯にはまだあって、あちこちで「挨拶」が交わされる運動会でした。

教育委員 榎本 悦子



## 「移動教育委員会で美留和小学校を訪問して」

6月28日、第6回定例教育委員会は、美留和小学校の図書室で開催致しました。

まず学校教職員の皆さんと、教育委員・教育委員会職員の自己紹介からスタートで、心地良い緊張と新鮮な気持ちで伝わってきました。

会議終了後、少し涼しい教室で、授業参観させていただきました。PTA役員・学校関係者との懇談会に臨んでまず、山内校長先生の学校概要で、同校は来年開校百周年を迎える説明が有りました。絶え間のない着実な歩みが到達できる通過点です。とても素晴らしい事です。

又、大変御忙しい処、PTA役員の皆様方、懇談会にご来校戴きました。その中で、子供達の安全の為、玄関入り口・階段等の修復が要望されました。委員会でも懸案事項でも有り、しっかりサポートして行きたいと思えます。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

教育委員長 小澤 重



## 「地域と一体 南弟子屈連合大運動会」

運動会で最も心配なのがお天気。前日夜からの雨で体育館での開催を覚悟していましたが、「世界一の楽しい運動会にしよう！」をスローガンにしているだけあって、7月10日の当日朝には雨が上がり、地域と小学校が一体となった運動会がグラウンドで開催されました。昭栄小学校の全校生徒は1年生から6年生の5名、少数精鋭ではありますが、伝統の一輪車も今年入ったばかりの1年生もしっかり乗りこなし、見事な演技を見せてくれました。また、地域の伝統種目「ムカデリレー～昭栄の鐘を鳴らそう～」では、小学生と地域の方々が一体となっていて楽しそうに取り組んでいるのが微笑ましく思えました。

終了後はこれも伝統の皆で食べるジンギスカン。毎回チャッカリご馳走になっています。

委員長代理 藤原 将男



## == 編集後記 ==

今回初めて取り組みとして、「教育委員コラム」を発行することになりました。ご感想はいかがだったでしょうか？

まだまだヨチヨチ歩きではありますが、今後リレー方式で年4回コラムを書いて行きたいと思っておりますので、お楽しみに…。

なお、次回の発行は10月頃を予定しております。(予定通りに行けば良いのですが…)

弟子屈町教育委員 委員長 小澤 重  
委員長代理 藤原 将男  
委員 榎本 悦子  
委員 菅原 誓之  
教育長 小林 俊夫

